ジャック＝イヴ・クストー

Jacques-Yves Cousteau

生年月日 1910/06/11
出身地 フランス／ジロンド
没年 1997/06/25
関連人物 ジャン＝ミッシェル・クストー（息子）
フィリップ・クストー（息子）

【バイオグラフィ】

■赤いニット帽がトレード・マークの“世界でもっとも愛されたフランス人”と言われた海洋学者。海軍兵学校を経て航空士官学校に進むが自動車事故にあい、巡洋艦士官に転向しフランス海軍砲術官となる。その後、海の中に広がる未知の世界に魅せられて研究を開始。エミール・ガニャンの技術協力を得て４２年には潜水用呼吸装置（商標名：アクアラング）を開発する。５０年ごろから海洋調査を本格的に始め、海洋調査船カリプソ号で紅海の調査を皮切りに世界の海を回り、５３年に著書「沈黙の世界」がベストセラーに。５６年には同名映画を製作し、カンヌ映画祭ではパルム・ドールを受賞。５７年に海軍を引退後、モナコ海洋博物館長に就任。深海潜水艦の開発や海底居住実験にも関わるなど精力的に活躍した。６４年には「太陽のとどかぬ世界」でアカデミー賞ドキュメンタリー長編賞を受賞。日本では７０年代に日本テレビが放映したドキュメンタリー番組「驚異の世界」で多くの子供達の憧れの的となった。９２年の地球サミットで環境破壊・海洋汚染を警告し、母国フランスの核実験再開を激しく批判した事は有名な話。９７年、心臓発作のため死亡。

【フィルモグラフィ】

海洋探検家クストーの遺産（2021）	出演
世界の果てへの旅（1975）	監督,製作
太陽のとどかぬ世界（1964）	監督,製作
沈黙の世界（1956）	監督

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.